

《担当者名》 山田 律子 rich@hoku-iryō-u.ac.jp 内ヶ島 伸也 船橋 久美子 會田 英紀(齒)

【概要】

高齢者の生理的老化と病的老化を踏まえて、老年期に特徴的な疾患や症状・障害の病態生理および生活機能への影響について学び、健康障害・生活障害をもつ高齢者のアセスメントとケアについて理解する。

【学修目標】

1. 老年期におこりやすい疾患や症状・障害の病態生理および生活機能への影響について説明できる。
2. 健康障害や生活障害をもつ高齢者への看護に必要なアセスメントとケアについて説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	認知症	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症 の病態・診断・治療	山田
2	認知症	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症 のアセスメントとケア	山田
3	中枢神経系疾患	脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)、高血圧・低血圧の病態とケア	山田
4	中枢神経系疾患	パーキンソン病・パーキンソン症候群、進行性核上性麻痺の病態とケア	山田
5	循環器・代謝系疾患	心不全、糖尿病の病態とケア	船橋
6	感染症	疥癬、白癬、带状疱疹、ノロウイルス、インフルエンザ、COVID-19の病態とケア	土屋隼人(特別講師)・山田
7	皮膚疾患	老人性皮膚掻痒症、スキン-テア、褥瘡の病態とケア	土屋隼人(特別講師)・山田
8	呼吸器系疾患	慢性閉塞性肺疾患、誤嚥性肺炎の病態とケア	内ヶ島
9	運動器系	フレイル、サルコペニア、骨粗鬆症の病態とケア(転倒予防も含む)	船橋
10	顎口腔系	口腔機能低下症の病態とケア	會田
11	徴候・症候	浮腫、脱水、痛み・倦怠感の病態とケア	山田
12	徴候・症候	うつ、せん妄の病態とケア	船橋
13	摂食嚥下障害	摂食嚥下障害、低栄養の病態とケア	山田
14	言語障害	失語症、構音障害の病態とケア	内ヶ島
15	薬物療法	高齢者の薬物動態の特徴、高齢者の服薬管理支援(polypharmacyを含む)	内ヶ島

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

【教科書】

山田律子・内ヶ島伸也(編)「生活機能からみた老年看護過程」第4版 医学書院,2020.

北川公子他「系統看護学講座 専門分野 老年看護学」第9版 医学書院,2018.

【学修の準備】

- 1) 2年前期に履修した「老年看護学」の教科書と講義資料を用いて復習しておくこと。
- 2) 毎回の講義前に、授業内容に対応する教科書をあらかじめ読んでおくこと。(30分)
- 3) 毎回の講義後に、配付された資料と教科書等を使い要点を整理すること。(30分)

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

【実務経験】

山田律子（看護師，日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）、内ヶ島伸也（看護師）、船橋久美子（老人看護専門看護師）、若濱奈々子（看護師）、會田英紀（歯科医師）、土屋隼人（皮膚・排泄ケア認定看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

老年看護の実務経験に基づき、老年看護の展開に必要な老年期に多い疾患や症候・障害の病態について教育する。特に口腔機能低下症は高齢者歯科を専門とする歯科医師が、皮膚疾患に関しては皮膚・排泄ケア認定看護師がそれぞれ講義を担当する。